

くにさき少年少
女 発 明 ク ラ ブ
事務局発行

発明クラブ通信



輪ゴムでつくろう！

第4回クラブ講座

“輪ゴムロケットを飛ばそう”

夏休み中の8月10日（土）に、4回目のクラブ講座が開かれました。

◆前半は、発明くふう作品展作品づくり

前回と同じように、前半の時間は発明くふう展にむけた作品づくりを行いました。設計図のできた人から、材料集めのため近くの店に行きさっそく作品づくりにとりかかりました。作っていく中で、うまくいかずに、なやんだり指導員の先生方に相談（そうだん）したりしていました。（↑もう少しで完成）



（↑もう少しで完成）



（↑先生にそうだん）

しかし、いろいろ工夫しているうちに完成に近づいていきました。発明作品はかんたんにはできませんが、悩（なや）んでいるうちにアイディアが必ずうかんできます。さらに完成すると、よろこびと自信がでできます。ぜひ皆さん、今後もいろんなことにチャレンジしていきましょう。



（↑完成したよ！）

◆後半は発明ものづくり

今回は、輪ゴムの力で簡単にロケットをとばす

作品づくりを行いました。まずは、輪ゴムをとばす方法をみんなで考えてみました。手の指だけで飛ばす方法もためてみました。指よりもっとよく飛ばす方法はないか考えてみました。その方法は、割りばしを使って飛ばしてみる方法です。皆さんは、先たんに輪ゴムをかけて飛ばす方法をすぐ思いつきました。会場に作った的（まと）をめがけて飛ばしてみるなかで、ゴムの力のすごさを感じたと思います。



（↑ねらいをさだめて、輪ゴムの発射）

ロケットをとばそう！

1）そこで、ゴムの力をつかって、ロケットをとばす道具を考えてみました。まずは、簡単にとばせるロケットを作りました。材料にはストローを使い、つばさをつければ簡単にできあがりました。ポイントは先を重くすることです。



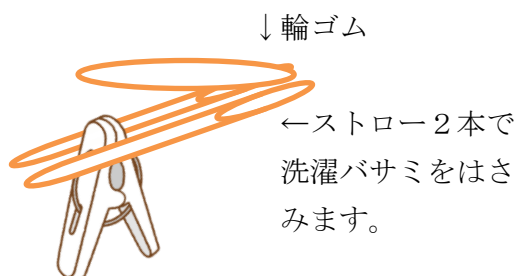
（↑つばさを作って、ストローにはりつけました。）

2）次はロケットをとばす方法として、ゴムをつかいますが、その方法を考えてみました。

ゴムにロケットをかけて飛ばす方法ですが、その道具を考えてみました。ゴム発射装置（はっしゃそうち）ができれば、そのゴムにロケットをのせて飛ばすことができるはずです。ポイントは、ゴムをとばすスイッチが必要（ひつよ

う)です。そのスイッチには、洗濯バサミを使いました。

そのしくみは、下の図のとおりです。



洗濯ばさみとストローをテープで固定(こてい)します。輪ゴムをストローの先にテープで取りつけ、輪ゴムをひっぱり洗濯バサミにかければ、発射台の完成です。

3) ロケットをとばしてみよう。

発射台が完成すれば、ひっぱった輪ゴムの上にロケットをのせて洗濯バサミスイッチを引けば、ロケットが飛んでいきます。さっそく完成した作品で、飛ばしてみました。(↓)



ロケット発射装置がうまくいけば、簡単に飛ばすことができました。何度も飛ばしているとストローがおれたりしますが、テープをまきつけていけばすぐに良くなります。



(↑完成したロケットと発射装置)

発射装置の材料は、ストローの代わりにわりばしを使ってもできます。この方がこわれにくいのですが、取っ手(とって)の部分をつくるのに工夫が必要です。そうすれば、もっといろいろな発射装置ができると思います。ほかにもゴムを使ったいろんな道具も作れると思います。ぜひ新しい道具を発明してみてください。

くにさきクラブも出展しています。ぜひ見に来てね!

※第83回 大分県発明くふう展開催 9月17日(火)～9月22日(日)

会場 大分県立美術館(OPAM) 展示会場 1階 アトリウム

大分市寿町2番1号 ☎097-533-4500

作品展に応募された県内各発明クラブ会員の作品だけでなく、高校生・一般の方々の作品も展示されますので、都合のつく方はぜひ皆さんご覧ください。

(10月講座のおしらせ)

■開催日～10月12日(土) 9:30～

■場所・内容 ～ アグリホール ・「竹ひご動力 サソリカー」

■持ち物 ～ ・筆記用具・はさみ・ものさし・活動ノート ・参加費 300円